

中期経営計画（2025年4月～2028年3月）

当金庫は2025年度からの3か年を100周年に向けたステップアップの期間とするため、中期経営計画をスタートさせました。

I 計画の名称

4Cプロジェクト2.0
～課題解決力強化の3か年～

II 経営の基本方針

1. お客さまのお役に立ちます

地域金融機関として、地元産業の発展と市民の福利のために奉仕する。

2. 地元と共に歩みます

金庫は、地元の発展・会員の繁栄とともに成長し、成長とともに寄与を大にする。

3. みんなで明るく楽しい職場をつくります

役職員協力一致して、健全な自主経営を行い、働き甲斐のある明るい職場をつくる。

III ビジョン（100周年に向けて目指す姿）

経営6カ条に則り、私たち神戸信用金庫は、**お客さま**（Customers）・**地域**（Community）にとってなくてはならない存在を目指し、複雑で不確実な時代であっても、自らを**変革**（Change）していくことで、伝統と先進性を兼ね備えた100年企業に向けて**挑戦**（Challenge）し続けます。

経営6カ条

第1条 お客さま・地域に対する姿勢

私たちとお客さま、そして地域は、信頼で結ばれたパートナーです。
情熱と誠実をモットーに信頼を勝ち得て、一步一步着実に貢献していきます。

第2条 職員同士の人間関係

私たち職員同士は、ファミリーです。
常に愛情を持って仲間に向き合い、「我が金庫」と心から思える職場を築きます。

第3条 経営に対する考え方

私たちは、「律と義」を重んじる金庫の一員です。
守るべきは守り、変えるべきは変え、何事にもスピード感を持って果敢にチャレンジします。

第4条 心の幸せの追求

私たちは、自立した個々人の集まりです。
強い信念と意志に基づいて人に尽くし、そのことで自分自身も幸せになります。

第5条 物質的な幸せの追求

私たちは、誇り高い信用金庫人です。
公明正大に事業を進め、適切な利益を得ることで、私たち自身の豊かな暮らしを実現します。

第6条 お客さま（地域）、神戸信用金庫、職員の調和

私たちは、お客さまと金庫、自分たち職員が満足する「三方良し」の担い手です。
三者の調和と発展をもたらす素晴らしい仕事を為し遂げます。



Ⅳ 考動原理

考動原理『ABCから始めよう』

Action（積極的に行動しよう）、Basic（基本を大切にしよう）、Challenge to Change（変化への挑戦をしよう）の「ABC」を考え方の軸、行動の軸とします。

Ⅴ 基本戦略・主要施策

1. お客さま・地域戦略

- (1) 組織的なプロセス管理を導入した強い営業力の発揮
- (2) 課題解決型営業による本業支援、目利き力、対話力向上
- (3) 店舗価値向上への取組み、会員組織の活性化
- (4) 事業承継・人材採用支援の強化、地域活性化に資する事業支援

2. 店舗・チャネル戦略

- (1) 新店舗戦略の立案と検証
- (2) 店舗の役割の多面的な見直し
- (3) ICT（情報通信技術）を活用したCX（体験価値）向上
- (4) デジタルチャネルの強化

3. 収益戦略

- (1) 新規預金先、新規融資先の獲得
- (2) 市場実勢および信用コストを踏まえた貸出金利設定
- (3) 手数料収入増強、課題解決に基づく手数料体系整備
- (4) 事務効率化、オフィス改革による経費削減、システム投資効果の可視化

4. IT・事務戦略

- (1) 事務効率化に向けた業務プロセス分析、簡素化、省力化
- (2) 本部への事務集中化、ペーパーレス化、外部委託検討
- (3) 営業支援システムの見直し
- (4) 事務リスク管理体制の充実・強化
- (5) DX戦略の策定と実行

5. 人材戦略

- (1) 当庫考動原理の確立と定着
- (2) 人材の採用強化
- (3) エンゲージメントを高める各種施策の実施
- (4) 職員の早期戦力化、レベルアップを図る研修の充実
- (5) 健康経営の実践

6. SDGs推進・神戸信金ブランド戦略

- (1) SDGs宣言を意識した行動
- (2) ESG（環境、社会、企業統治）投資の取組み
- (3) 神戸信金のブランド価値を高める仕組み

7. リスク管理戦略

- (1) 金利上昇期におけるALM機能の高度化
- (2) 信用リスク管理データの収集、蓄積、分析
- (3) サイバーセキュリティの管理態勢の強化

8. 経営管理戦略

- (1) マネロン・テロ資金供与・拡散金融対策の実施
- (2) 法令等遵守態勢の強化
- (3) 内部監査の高度化に向けた対応の強化